

信濃美術館の主な施設の概要と特色について

県民文化部文化政策課
信濃美術館整備室

交流スペース（1F）



[施設概要]

- ・ 部屋面積：320㎡
- ・ 天井高さ：3.25m

[特色]

- ・ 誰でも気軽に憩うことができるフリースペース
- ・ ワークショップや、創作体験プログラムなどに使う多目的スペース
- ・ 作家の創作過程を公開するオープンギャラリーを一角に設置
- ・ 映像作品を投影する連続した2面の壁面(L字型)を設置

エントランスホール（1F）



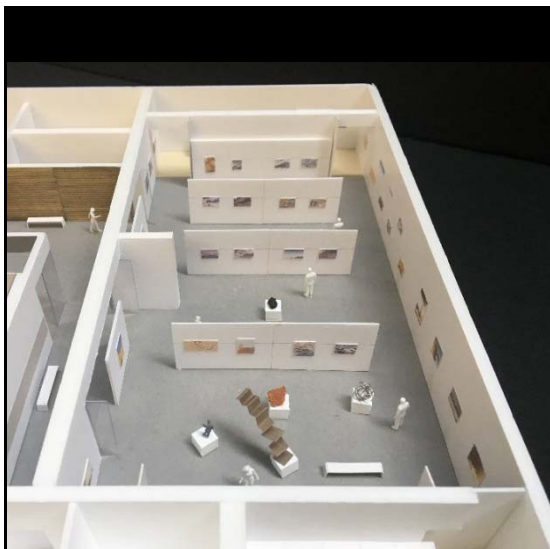
[施設概要]

- ・ 部屋面積：515㎡
- ・ 天井高さ：3～12.85m

[特色]

- ・ 東山魁夷館と向かい合い、本館への主要アプローチとなる3層吹抜けのスペース
- ・ 本館のメインエントランスとして来館者動線をさばくだけでなく、式典や小規模イベント、団体来館者への案内等、多目的な利用が可能
- ・ 独立したエレベータや大階段などを配する開放的な空間

県民ギャラリー (B1F)



[施設概要]

- ・ 部屋面積：423 m²
- ・ 天井高さ：4.2m(一部 3.2m,5.2m)

[特色]

- ・ 美術団体や自主グループの展覧会等、県民の作品発表のための施設
- ・ 可動パネルを使って、規模に応じた分割利用が可能
- ・ 駐車場から専用エレベータを使って直接作品の搬入が可能

多目的ルーム (B1F)



[施設概要]

- ・ 部屋面積：234 m²
- ・ 天井高さ：4.3m(一部 4.65m)

[特色]

- ・ 講演会やシンポジウム、連続講座、ミュージアムコンサートなどを行う施設
- ・ 簡易収納ステージを備え、客席数はおおよそ 160 席まで対応
- ・ ステージを収納することにより、通常はフラットで汎用性のある施設として利用可能(県民ギャラリーとの一体利用が可能)

展示室 D (1F)



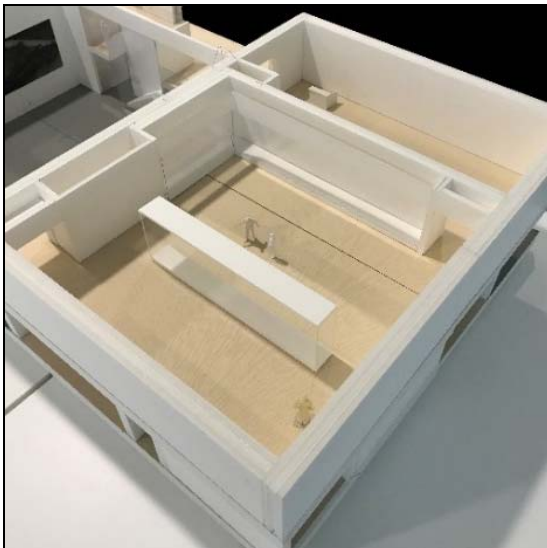
[施設概要]

- ・ 部屋面積 : 371 m²
- ・ 天井高さ : 3m(吹抜部分 ; 7.2m)

[特色]

- ・ 「展示空間の顔」ともなる、来館者の期待を高める空間
- ・ 二層吹抜の空間は大型の現代美術等の展示が可能

展示室 A (2F)



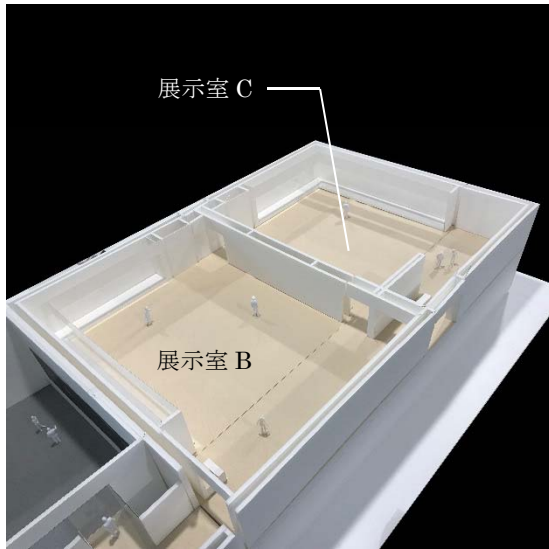
[施設概要]

- ・ 部屋面積 : 443 m²
- ・ 天井高さ : 4.2m

[特色]

- ・ 収蔵品の展示をメインとし、洋画・日本画・工芸など、ジャンルごとの展示を想定した3つのエリアで構成
- ・ 可動パネル、自立展示ケース等を配備

展示室 B・C (2F)



[施設概要]

- ・ 部屋面積：885 m²
- ・ 天井高さ：4.2m

[特色]

- ・ 企画展のための展示施設で、国宝・重要文化財の展示のための環境条件を満たす仕様
- ・ 壁面展示ケース、可動展示壁を使ってさまざまな展示計画に柔軟に対応可能

アート・ライブラリー (1F)



[施設概要]

- ・ 部屋面積：132 m²
- ・ 天井高さ：3m

[特色]

- ・ 美術に関する書籍、展覧会カタログ、雑誌・新聞、映像資料を備えた閲覧及び調査・研究のための施設
- ・ 一般来館者のための閲覧室のほか、研究者のためのスペースを設置

屋上広場 (3F)



[施設概要]

- ・面積：1,868 m²

[特色]

- ・善光寺を望む展望広場として東側道路から直接アプローチ可能な屋上のフリースペース

待合プラザ



[施設概要]

- ・延床面積：39 m²
- ・天井高さ：3～5.3m

[特色]

- ・城山公園・信濃美術館の玄関口として、信濃美術館の情報発信の場とバス・タクシー乗場、公衆トイレを一体化した施設
- ・日常的な休憩や交流の場となるようポケットパールの設え